

1 派遣団員となった思いや、広島を訪れることへの抱負など。

僕たちが広島に行くにあたって、学んできたいと思ったことは、原子爆弾の威力、被害を受けた広さ、当時、被害にあった人の思い、そして、約 68 年前に起こった戦争の悲惨さなどを目を見て、耳で聞き、感じ取りたいと思います。

広島には厳島神社などの世界遺産があるので、そこから、なぜここが世界遺産なのか、どうやってこのような景色を守ってきたのかということも気になったので、調べてみたいです。

しかし、旅は、学ぶだけではおもしろくないので、楽しむことを忘れずに 3 日間をすごせたのでとても良かったです。

2 広島平和記念資料館（平和記念公園）を見学して学んだことや考えたこと。

広島平和記念資料館へは 1 日目に行きました。

中を見学して、やはり原爆や戦争はあってはならないものだと思います。写真や人髪などの実物、当時の服装や出来事が詳しく展示されていました。

その中でも一番心に残っているのは、原爆の後遺症で命を落とした佐々木禎子さんが病気が治ると信じて折った鶴です。禎子さんは 2 歳のときに被爆し、10 年後の小学 6 年生のときに突然白血病を発症してしまいました。9 カ月の闘病生活の後、亡くなってしまったそうです。

禎子さんのように原爆や原爆の後遺症で苦しんでいる人は今でもたくさんいます。

こんなひどいことが未来に二度と起きないように、戦争や核をなくし、平和な世の中になってほしいと思いました。

3 広島市原爆死没者慰霊式及び平和祈念式に参加して学んだことや考えたこと。

平和祈念式に行ってみて、まずはじめにこの式にかかわっている人がとても多いと思いました。地元のボーイスカウトやガールスカウトの人がパンフレットや花を配っていました。小さい子から大人までボランティアで働いていてすごいと思いました。

次に参加している国がとても多いと思いました。パンフレットを見るだけでも 70 か国以上の方が参加していました。世界の方が広島のことを考えてくれているんだとおもいました。

今日の平和祈念式で、世界の人々の広島、原子爆弾への関心がわかりました。私が大人になるころには、世界から核兵器がなくなり、戦争がなくなり、平和な世界になって欲しいです。私たちが核を持っている国に呼びかけなければならないと思いました。

4 全校生徒で作成した千羽鶴を捧げてきて感じたことや考えたこと。

千羽鶴を捧げてきて、たくさんの鶴が届いていることに気がつきました。中には、すぐには作成できないような鶴があったので、驚きました。栃木市それぞれの学校で作った鶴を原爆の子の像に奉納したとき、この世が平和になってほしいという思いを

こめました。

この世にはまだ領土などを争う国が、自分たちの知らないところにたくさんあります。

一刻も早く、戦争、原爆、核兵器を無くし、平和な世界になってほしいと思いました。そして、まだどこかで佐々木禎子さんは、鶴を折り続けているのだと思います。

また千羽鶴一羽一羽が本物の鶴のように空へ飛び立ってほしいと思いました。

5 被爆体験講話を聞いて学んだことや考えたこと。

今回の被爆体験講話では、田川康介先生に当時の貴重なお話を聞くことができました。

田川先生は17歳の時、仕事から家に帰る際に被爆されたそうです。

皮膚が溶けた人が川めがけて飛び込んだところを見た時は本当に地獄のようだった、他県の人たちからはひどい差別を受けた・・・そう話してくださいました。

今だったらかわいそう、なぜそんなことをするのだろうと思えますが、もし自分がその時代にいたら私も差別をしていたかもしれないと思います。

私はこの講話を聞き、戦争は絶対にやってはいけないと思い、また戦争の悲惨さを次の世代に伝えていきたいです。

6 宮島（厳島神社）の見学や、元安川灯籠流しを体験した様子や感想

宮島では、テレビでしか見たことのなかった世界遺産を自分の目で見ることができ、昔の技術を学ぶことができました。

日本三景に選ばれている厳島神社では、木材を中心として造られており、歩いていると少し潮の香りがしました。そして、海の上に立っている大鳥居は、右の柱は宮崎県のくすの木、左の柱は香川県のくすの木を使っていて、よく見てみると、太さが違っていました。とても丈夫だということがわかりました。

夜に行った元安川灯籠流しでは、列がとぎれてしまうほどの多くの人が見に来ていました。僕は世界平和という願いをこめて流しましたが、この願いに向けて、自分から、平和の尊さをうたえていきたいです。

【それぞれの感想】

・想像していた「広島」と3日間過ごした「広島」は全く違うものでした。日本で起こった戦争のことをこんなに考えてくれる外国人たちがいるということにぼくは感動しました。

平和というものは、僕たちが守っていかなければならないもの、と強く思いました。

・広島を訪れて、戦争や原爆はあらためて恐ろしくむごいものだということが分かりました。

一瞬で多くの命を奪った原爆、核兵器を世の中から一つ残らずなくし平和な世界に

なってほしいです。

広島で原爆で命を落とした多くの人々のご冥福をお祈りしたいと思います。

・ 今回の派遣で、平和記念公園などを訪れたり、講話を聞いたりして平和の尊さ、戦争の悲惨さを改めて知りました。

広島で学んだことを、学校のみんなや、地域の人々に伝えたいと思います。学校の代表として、最後まで、「学んだことを伝える。」ことができるようにがんばりたいです。3日間貴重な体験ができました。

・ ぼくが、この広島を訪れ、ぼくたちが思っている数十倍、数百倍以上も、悲惨であることを見て、聞いて、感じてくることができました。この3日間を通し、学んだことを、学校の皆さんや地域の方に伝えていきたいと思います。

そして、二度と戦争が起こらない国になってほしいと思います。

・ 今回この貴重な体験をしてやはり戦争は絶対にいけないことだということ、そして今私たちがこうして平和に暮らせていることが本当に幸せな事なんだと改めて感じました。平和とはみんながみんな幸せに暮らしていけることだと思いました。

この体験を忘れず、多くの方に平和の大切さを伝えていきたいです。

・ 僕は今回広島を訪れて、当時の悲惨さを学ぶ事ができ、戦争がこの世になくていい根拠を学べました。

一つの戦争の中の武器として使われた原子爆弾だけで約30万人の命が奪われました。こんな大事件を知らない人々に、今、平和で暮らしていることを感謝しないとイケないということを、どんどん伝えていき、世界平和になることを祈ります。

以上